

会 議 録

1 会議名

第7回浦川原区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告（公開）

ア 会長報告

（報告なし）

イ 委員報告

（報告なし）

ウ 市からの報告

（報告なし）

(2) 協議（公開）

ア 中学生との意見交換会について

イ 次回の開催日時等について

(3) その他（公開）

ア 「大・浦・安」地域協議会委員研修会について

3 開催日時

平成28年10月20日（木）午後6時30分から午後7時00分まで

4 開催場所

中保倉小学校 多目的室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：池田幸博、金子百合江、杉田和久、西山康博、福井克利、藤田宏経 会長、前島邦子、村松清、村松進副会長、和栗恵子副会長

・事務局：浦川原区総合事務所奥田所長、岩野次長、総務・地域振興グループ西山グループ長、産業グループ山崎グループ長、建設グループ小林グループ長、教育・文化グループ南雲グループ長、総務・地域振興グループ飯野班長、宮川班長

8 発言の内容

【藤田会長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上が出席しているので、会議が成立する旨を報告
- ・出席者は10人。欠席委員は五十嵐委員、市村委員
- ・会議録の確認：西山康博委員

【藤田会長】

「2 報告事項」で「(1) 会長報告」は特になし。次に「(2) 委員報告」で何か皆さんから報告事項はないか。よろしいか。

(会場内から「はい。」の声)

それでは、次に「(3) 市からの報告」で市から何かないか。

【総務・地域振興グループ西山グループ長】

特になし。

【藤田会長】

次に「3 協議」の「(1) 中学生との意見交換会について」資料1に基づいて、実行委員である村松進副会長より報告をいただく。

【村松進副会長】

(資料1に沿って説明。)

【藤田会長】

開催要項の案を示していただいた。11月19日の土曜日の午前10時50分から12時40分までスケジュールを組んでいただいている。これについては、今期新たに10人の委員の方が選任されているが、既に2年間、中学生との交流、意見交換を行っている。これについて何かご意見、ご質問があれば受けるが、いかがか。

開催要項(案)の中ほどで担当委員ということで、A班、B班、C班、D班、E班、F班といった形で、左側に協議の切り口ということで、いくつかの項目が挙がっているが、これについて意見交換をしていくということで、予め6班に分けてあり、ご自分の担当部分を確認していただいて、リードしていただきたい。

【杉田委員】

地域協議会委員と中学校との打合せの資料の中で上野教諭が発言されているが、「2年前と全く同じというのはどうか。前回の反省点等はないか。」また、後半でも上野教

論から「2年前の意見交換会の結果を受けて何か反映したことはあるか。」とされている。

皆さんご承知のように、2年前、平成26年に同じテーマで一度話し合われている。その資料が添付されていて、当時の委員も感想を述べておられる。良いことは何度行っても差し支えないと思うが、中学生とのワークショップを通じて、中学生が自主的に考え、意見をまとめて、人前で発表するということは教育的にも大変すばらしいと感じる。それを地域協議会として目標とするのはやぶさかではない。

そこで、上野教諭が言われた「2年前と同じ。」、「何か反映したことはあるか。」ということで、ワークショップの後で有意義な話し合いがあったと、皆さん感想を述べておられるが、今回、11月に開催してその後の話し合いでも良いのだが、もし貴重な意見が出た場合に、その意見を反映するにはどうすれば良いかということ論議しなければならない。それと、前期委員が感想を述べられているように、何回も試みるというように、決まった話ではないが、平成26年、平成27年のテーマを繰り返し行うという意義付けを地域協議会の中でなされて、来年度以降も試みるというコンセプトなのか。

【藤田会長】

杉田委員の意見は3つあると思われる。「意見交換するための意義」、「話し合われた後のフォローアップをどうしていくのか」、「繰り返し行う意義」についてということだと感じた。

最初に、開催した意義については、地域協議会というものを、次代を担ってくれる中学生にきちんと話を理解してもらいたい、話というのは、話し合った上で、地域協議会が設けられている内容についてしっかり理解してもらいたいということが、そもそも、お願いを兼ねていたことである。それについて、旧委員の中から意見が出て「良いことである。」ということで開催した。その中で浦川原全体をどうしていくのかということで、「観光」や「交通」といった分け方が「産業」であるということで、ワークショップ形式で開催した。

ただ、残念ながらご指摘のとおりフォローアップについて、意見が出たものをフィードバックしてあげなければならなかったということで、これは大きな反省点だと思っている。

平成26年は3年生を対象にしていたと記憶しているが、今回は2年生が対象ということで、昨年から2年生を対象としている。2年生ならば次の3年生の1年間があるわけで、話し合ったことについて、できるものはフォローアップしていくと、必要な機会

に話を振って実行していただくというような形の方法をとらなければならないと思う。

繰り返し行う意義だが、毎年、生徒の学年が上がり卒業もあり、新しい生徒も入ってきてクラスも変わってきて生徒が変わってくるため、我々が繰り返し地域、浦川原の今後を背負っていただく方々に、最終的には地域協議会をきちんと認識していただきながら、地域の発展に尽くしていただきたいといった願いがある。

池田委員、補足で何かあればご発言いただきたい。

【池田委員】

概ねの内容は、会長がお話しされたとおりである。

去年、一昨年と2回開催したが、両方ともテーマが違っており、それなりの成果が得られたと委員の皆さんが実感している。

4名の実行委員、村松進副会長、西山委員、福井委員と私と4名で集まりテーマはどうするか、どういった形でやるか話し合った。その結果として一昨年のテーマと同じではあるが、非常に有意義な内容であったということと、毎年やっても2年生が毎年変わるわけで、それなりに意義があるということである。

私の個人的な感想だが、去年、一昨年と2回やらせていただいて、本当に中学生は立派な大人であり、私たちが社会・地域を見ている目と違うストレートに澄んだ目でものを見ている。これは私たち委員が反省させられる点でもあり、自覚しなければならない点だと感じた。また、会長の話にもあったが、フォローアップ、フィードバックをどうするかということで、それはこれからの課題であると思う。

多くの委員は初めてだと思うが、実際にやっていただくと本当に自分の子ども、孫のような年代の生徒さんたちなのだが、目から鱗というか、そういった気持ちになるということは自信を持って言える。

【藤田会長】

その他、何かないか。

(会場内声なし)

それでは、日程は11月19日の土曜日で午前10時50分から12時40分の限られた時間ではあるが、中学校の多目的室に集合いただいて、A班からF班まで振り分けられているので、それぞれ担当していただくということでお願いします。

次に、「(2) 次回の開催日時等について」だが、今回は月影地区へ巡回していきたいと考えている。11月24日の木曜日、午後6時からお願いしたい。次第は午後6時30分となっているが、午後6時からお願いしたい。協議会の後に懇談会もあり、12月

に入ると皆さんもお忙しいということで懇親会も含めて行いたいと考えている。ということで30分早めさせていただいている。これもスケジュールに入れていただきたい。

次に、「4 その他」で「(1) 『大・浦・安』地域協議会委員研修会について」事務局から説明いただく。

【総務・地域振興グループ飯野班長】

(資料2に沿って説明。)

【藤田会長】

大浦安の地域協議会委員の研修会は毎年行っており、輪番制であり、去年は安塚区でやって今年は浦川原区の当番であり、来年は大島区といった形になっている。今回は「地域協議会の在り方について」ということで、その意義をもう一度、再確認をしていただくということで牧田教授にお願いした。これについて何かご質問はないか。

(会場内声なし)

それでは、皆さんの日程に加えていただきたい。しかも、浦川原区は主催する方で、迎え入れる側であり、是非、皆さんの出席をお願いします。

それから「4 その他」で創造行政という冊子が来ており、お読みいただきたい。その他、皆さんから何かないか。

それでは、第7回浦川原区地域協議会を閉じる。

9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。